

編 集 後 記

昨年は柄にもなく再度追悼文を書くことが多かった。ところが10月号の編集後記に書いた原田教授の追悼文に誤りがあることを広島の高師松坂義孝君が申出てこられた。御出身を修道中学としたのは小生の思違いで広島高師附中が正しく、大正14年3月第16回の御卒業の由、同期には広島以外では足立忠東京医歯大教授、植田敏郎一橋大独語教授など錚々たる人物がおられた由、御仏が気にして迷われぬように改めて訂正を申しあげ、ありし日をしのびつつ御冥福を祈る次第である。

今般岡山大学の大村教授の後任には東大の新島助教授が決定、さらに三重大の矢野教授の跡へは多田助教授が昇格された。共に今後の御発展を祈る。

今回の随想には癌研の桜井博士より玉稿を戴いた。御熱読ありがたい。

購 読 要 項 (1968年2月28日改定)

1. 発行は毎月(年12回)とし、年間購読者を会員とします。
2. 会員は年間予約購読料1,800円(送料共)を前納していただきます。
分売は1冊150円(送料別)。払込みは振替口座番号 京都 4772番 泌尿器科紀要編集部、あるいは第一銀行百万遍支店宛。
3. 入会は氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先、職地位、自宅開業の別、振替または銀行払の別を御記入の上編集部宛、はがきにてお申し込み下さい。
4. 新規入会の方には最初の1年購読料1,000円の特典を設けます。

投 稿 内 規 (1968年2月28日改定)

1. 原稿の種類は総説、原著、臨床報告、その他、和文または英文とします。
2. 原稿の長さは制限しませんが簡潔に願います。
3. 和文原稿は400字詰原稿用紙横書きとし、当用漢字、平かな、現代かなづかいを用い、片かなには「」を要しません。表、図の説明はなるべく欧文にして下さい。文中欧語学術用語は固有名詞、記号以外はキャピタルではじめる必要はありません。必ず欧文抄録をつけ、これには欧文の表題、所属機関名、ローマ字著者名も記入しておいて下さい。

欧文抄録は詳細なものを歓迎します。御希望の場合は当編集部にて翻訳しますので、抄録用の和文原稿を別に作成して下さい。翻訳の実費は申し受けます。

4. 英文原稿の場合はタイプライターを使用して2行の間隔をあげ、和文表題と和文抄録をつけて下さい。
5. 数字はすべて算用数字を使用し、数量の単位は m, cm, mm, ml, kg, g, mg, °C, μ , % pH などを使用し、は不要です。また BUN IVP NPN PSP TUR なども、を要しません。
6. 表、図、写真等はすべて別紙とし、本文中に挿入箇所を指示して下さい。説明は和文、欧文を問わず Table 1, Fig. 2 等として下さい。
7. 文献の書式は次のようにして下さい。
 - A 雑誌の場合 著者名：誌名、巻数：頁数、西暦年次。
例 1) 中野：泌尿紀要、1：110、1955。
2) Lazarus, J. A. : J. Urol., 45: 527, 1941。
文献名は正式略称を用いて下さい。
例：日泌尿会誌、臨床皮泌、皮と泌、泌尿紀要；J. Urol., Invest. Urol., Zschr. Urol. 等
 - B 単行本の場合 著者氏名：書名、版数、Vol. 数、p. 数、発行所、出版地、年次。
例 1) 加藤篤二：日本泌尿器科全書、Vol. 5, p. 175, 金原出版&南江堂、東京、1960。
2) Dean, A. L. & Dean, A. L., Jr. : Urology edit. by M. F. Campbell. 2nd edit., Vol. 2, p. 1229, W. B. Saunders Co., Philadelphia, 1963。
8. 掲載料の著者負担は4頁迄毎頁600円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真、欧文組版等には実費を申し受けます。別冊20部は無料、それ以上は実費をいただきます。予め希望部数を申し込んで下さい。特別掲載も考慮します。
9. 校正は初校のみ著者校正とし、再校以降は編集部が行ないます。
10. 原稿は最終的に返却致しません。
11. 原稿到達日を受付日とし、予約による受け付けは致しません。
12. 原稿送り先は京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部宛、書留便。

泌尿器科紀要 第14巻 第2号 昭和43年2月25日 印刷 昭和43年2月29日 発行
定価150円(送料別)

編集発行人 加藤 篤二 顧問 稲田 務 発行所 泌尿器科紀要編集部
京都市左京区聖護院川原町53 京都大学医学部泌尿器科学教室内 電話 771-8111 学内5806
印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入